

特集

水の都のボランティア



熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

ボランティア

ボランティア活動を始めたい、ボランティアを募集したい等の様々な相談を受け付けています。また個人、団体でのボランティア登録を受け付けており、登録された方には定期的にボランティアに関する情報をお届けしております。ボランティア活動に興味のある方はぜひご来館ください。

NPO法人

NPO法人の設立・運営に関する相談や、各種提出書類の相談窓口を開設しています。特に、法人の設立及び定款変更の認証申請書類の作成に関しては、留意していただく事項が多いため、申請書類の作成に関する質問、提出書類の確認をするなどの事前相談を実施しております。また法人の活動状況把握のための訪問や、要望に応じての出前相談会も行っております。

くまもと・わくわく基金 / その他助成金

「くまもと・わくわく基金」や「その他助成金」に関する相談を受け付けています。「くまもと・わくわく基金」から助成を受けるには、あらかじめ基金団体登録をしていただく必要があります。申請書や報告書など書類の書き方の説明や、団体の運営相談などを受け付けています。また、「その他助成金」に関しては、ホームページでの情報掲載や、窓口での説明・紹介等を行っております。

Let's go あいぽーと!

あいぽーとでのイベント情報をFM791のラジオで毎週月曜日朝8時40分より配信しています。「Let's go あいぽーと!」を聴いてあいぽーと情報をゲットして遊びに来てください。

放送日 / 毎週月曜日 8:40~

※生放送のため、開始時間が前後する場合がございます

あいりぽーと

毎月、あいぽーとスタッフが、熊本市内で活動されている団体取材し、FM791のラジオ番組「校区のチカラ」の中で取材報告をしています。

放送日 / 毎月第2金曜日 14:00~

動画deあいぽーと

NPO向け講座&あいぽーとの活用法をYouTubeで公開しています。ボランティア情報を探るとき、書類の作成で悩んだときなど、ぜひ活用してください。今後もどんどんアップしていく予定なのでチャンネル登録もよろしくお願いいたします!

チャンネル登録はコチラ



詳細については、お気軽に下記までお問い合わせください。

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

TEL:096-366-0168 FAX:096-366-8830
Mail:aiport_kumamoto_city@joy.ocn.ne.jp



ホームページは
コチラから

もくじ
contents

特集 ● 水の都のボランティア 02

- ・「くまもとの水」の基礎知識
- ・ここがスゴイよ!くまもとの水
- ・くまもとの水を守る人々 ～人呼んで「水守さん」を知っていますか?～

● クローズアップ人 01

● あいずボランティアレポート 06

● くまもと・わくわく基金レポート

- 令和2年度 助成事業の成果レポート 08
- わくわく基金の「その後の話」 10
- ご協力のお礼と寄附者のご紹介 12
- 令和3年度 助成事業の紹介 13

● アクティブNPO 14

● 数字で見るあいぽーと 16

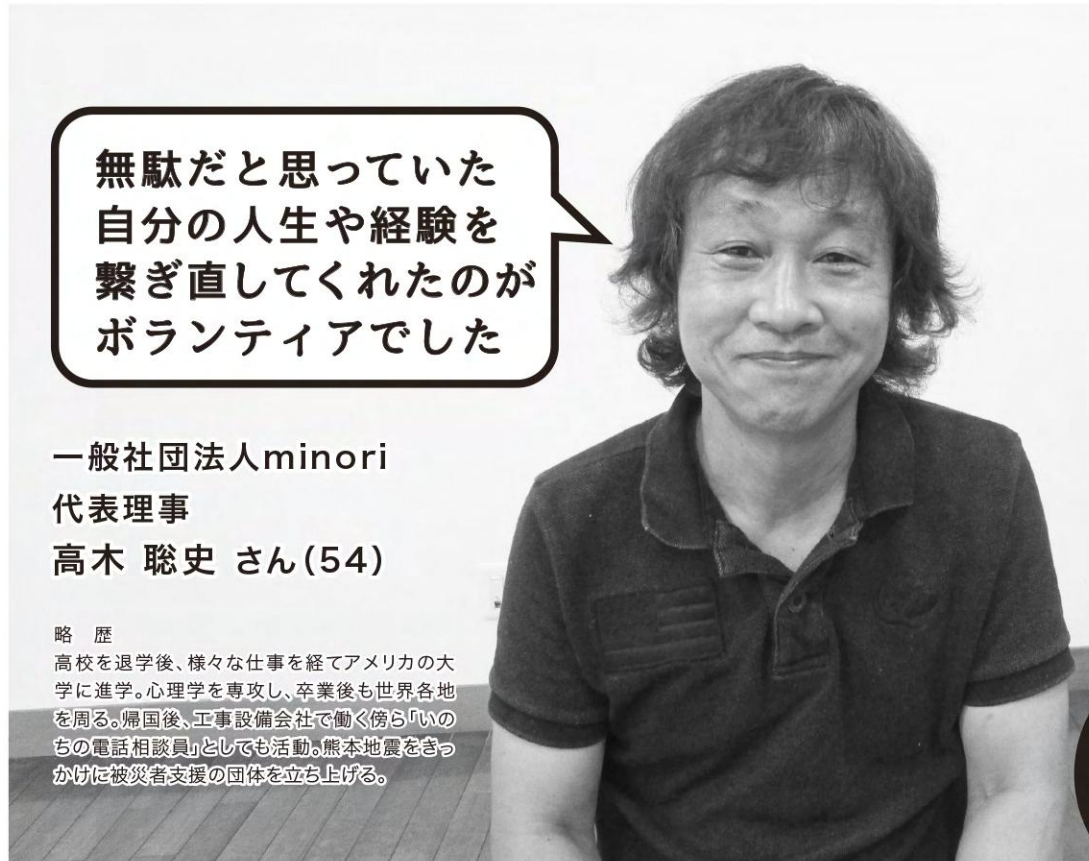
● あいず川柳道場 17

●表紙について

表紙撮影協力:オモケンパーク(熊本市中心区上通町7-7-1)
上通商店街のビル跡地に誕生した「ソーシャルデザインパーク」。併設のカフェで注文できるドリンク&フードは、店内はもちろん、屋上のテラスなどお好きな場所で楽しめます。カフェ内のガーデンには、なんと災害時に飲用水として使える井戸が! こんな街ナカでも地下水の恵みを感じられるのは、まさに熊本市ならではの。



クローズアップ人



無駄だと思っていた
自分の人生や経験を
繋ぎ直してくれたのが
ボランティアでした

一般社団法人minori
代表理事
高木 聡史 さん(54)

略 歴
高校を退学後、様々な仕事を経てアメリカの大学に進学。心理学を専攻し、卒業後も世界各地を回る。帰国後、工事設備会社で働く傍ら「いのちの電話相談員」としても活動。熊本地震をきっかけに被災者支援の団体を立ち上げる。

子どもの頃から「社会と上手くやるのが苦手だった」と語る高木さん。そんな彼は今まさに「社会の問題」に向き合うことを仕事にしています。その過程で見つけた人生の意味と次世代への想いにクローズアップ!

——高木さんの子ども時代、青年時代は?

落ち着きのない子どもで、母には厳しく嫉
けられ……。無理やり塾にも行かされましたし、
テレビも1日30分まででした。その反動で高
校も退学し、東京、そしてアメリカと、10代
から20代にかけて各地で働いたり学んだり
色々な経験をしてきました。熊本に帰ってき
てからは工事の仕事をしたり、電話相談員の
ボランティアを経験したりしたのですが、そ
の頃も自分の仕事や生き方に自信は持てな
かったし、「本当の自分はこうじゃない」「俺
の人生はこんなもんじゃない」と、屈折して
いたように思います。

——すべての経験は無駄じゃなかった!

熊本地震のとき、「被災者の心のケアが必要
だ!」と思い行動を起こそうとしたのですが、
茫然自失になっている人に気持ちを聴きさ
せることは、なかなかできませんでした。

そんなとき、道を開いてくれたのが、以前
の仕事で身につけた修理や工事のスキルです。
皆さんの家や避難所で「そこ直しますね」と
と言って作業するだけで、被災者の方との関
係性が出来上がり、相手の心に飛び込むこと
ができます。それをきっかけに不安や悲しみ

を吐き出してもらい、心のケアにも繋げるこ
とができました。

そのとき、アメリカで学んだ心理学も、若
い頃にイヤイヤやっていた仕事も、母に言わ
れて詰め込まれた勉強も、海外で受けた差別
や困難も……。まるで自分の物語の伏線を回収
するかのようになり、今までの人生で経験してき
たあらゆるものが、被災者支援の活動に繋がっ
た気がしたんです。

——若い人に伝えたいことは?

若い時「ボランティア」に対して、「偽善者っ
ぽくみられるのが嫌」と敬遠していた時期が
ありました。でも実際に飛び込んでみると、
様々な知識を持っている人や、深い考え方を
持っている人など、素晴らしい先輩たちに会
い、自分を見つめ直す機会になりました。だ
からこそ、「ボランティアなんて」とバカに
している人たちとこそ一緒にやりたいです
ね!

独立してビジネスを起こしたい人や営業職
の人はもちろん、これから就職して社会に出
る全ての若者に必要な「相手から信頼を勝ち
取るスキル」を、ボランティアを通して学ん
でほしいです。

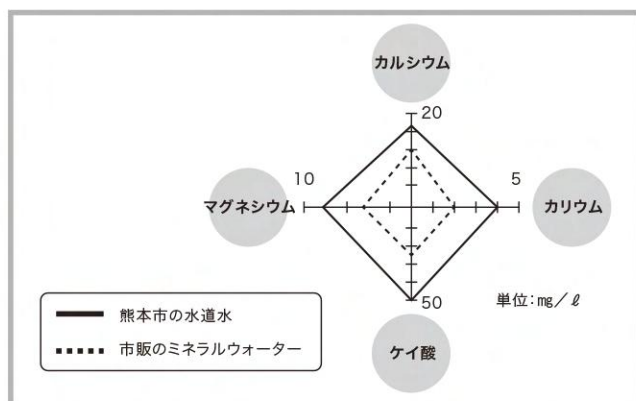
ここがスゴいよ!くまもとの水

熊本市民たるもの、この素晴らしい「くまもとの水」を世界に向けて発信できなくては！
ということで、ぜひ押さえておきたい「くまもとの水」のスゴいポイントを改めてご紹介します！

水質がスゴい!

熊本市の水道水は適量のミネラルを含み、硬度や炭酸などもおいしい水の条件をクリアしています。汲み上げられた地下水に、法律で定められた最低量の塩素を加えた処理のみを行うため、天然水そのままの味を楽しめます。まさに「蛇口をひねればミネラルウォーター」なのです！

右の図は熊本市の水道水と市販のミネラルウォーターに含まれる成分の一部を比較したものです。熊本市の水道水がミネラル分を豊富に含んでいることがわかります。



熊本市の本気度がスゴい!

洗剤や食べ物のゴミなどを含む生活排水とならんで、地下水を汚す要因となるのが、畑で肥料としても使用される豚・牛などの「家畜排せつ物(ふん・尿)」の不適切処理です。地下水が汚れるのを防ぐため、熊本市では家畜排せつ物を適正に処理する堆肥センターを整備しました。

歴史がスゴい!

熊本城を造った加藤清正公は、熊本市の基礎となる土木工事を行い、たくさんのお水田を作ったことでも有名です。そのお水田から地下にしみ込んだ水が地下水をつくっているのです。また熊本城の南西地域を洪水から守るため、加勢川の堤防となる江津塘を作りました。それによって現在の江津湖のカタチができたのです。

世界的にスゴい!

2013年3月22日「世界水の日」、熊本市が「国連「生命(いのち)の水」最優秀賞」を受賞しました！日本からは熊本市が初の受賞♪また、2022年4月に開催される「第4回 アジア・太平洋水サミット」の開催場所として熊本市が選ばれました！



ここがヤバいよ…くまもとの水

当たり前のことですが、毎日使っている水も、限りある資源だということを忘れてはいけません。使いすぎたり、汚したりすれば、将来水が不足したり、美味しくなくなるかも…。そんな「くまもとの水」に迫るピンチも覚えておきましょう。

地下水が減っている

住宅や市街地などの掘りかきとともに雨のしみこむ土地(=涵養域)が減りつつあります。そのため、地下水の量も減ってきています。地下水の減少の原因として、水前寺や江津湖の湧水の量も年々減ってきています。

使用量が増えている

熊本市で1人1日あたりに使われる生活用水量は、令和元年度の調査では219ℓ。九州の主要都市の平均210ℓ(平成28年度調査)と比べても、「家庭で水を使う量が多い都市」だといえます。また、令和2年度はコロナ禍の影響で在宅時間や手洗いの回数が増え、1日あたり229ℓに増えています。

これまで触れてきたとおり、大自然が起こした奇跡と、先人たちの努力によって守られてきたものが、キレイで美味しい「くまもとの水」なのです。では、その恩恵を受ける私たちにできることは？

日々の生活の中での節水や、緑豊かな自然(=涵養域)を守るための行動はもちろん必要ですが、さらに、みなさんが今まで行ってきた活動や、自分の得意分野を活かして「くまもとの水」を守る制度が…熊本市にはあるんです！

←次ページにつづく!

水の都のボランティア

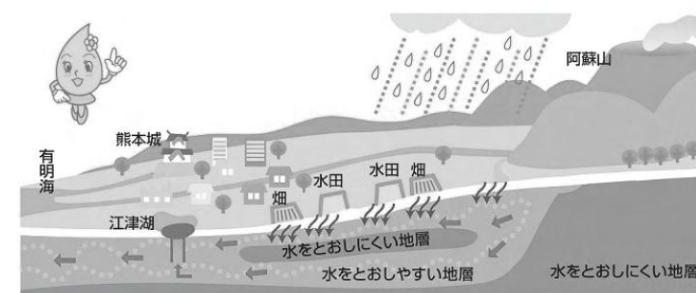
今回の特集は日本国内はもちろん、世界からも評価・注目される「くまもとの水」がテーマ。熊本市に住む私たちが、普段の生活の中で何ができるのか考えていきましょう！

「くまもとの水」の基礎知識

まずは「くまもとの水」について、基礎知識の確認からスタート。知っているつもりでいたことも、改めてチェックしてみると発見があるかも…?

阿蘇火山が生んだ大自然の奇跡

ご存知のとおり「くまもとの水」は地下水。では、そもそも「地下水」とは？



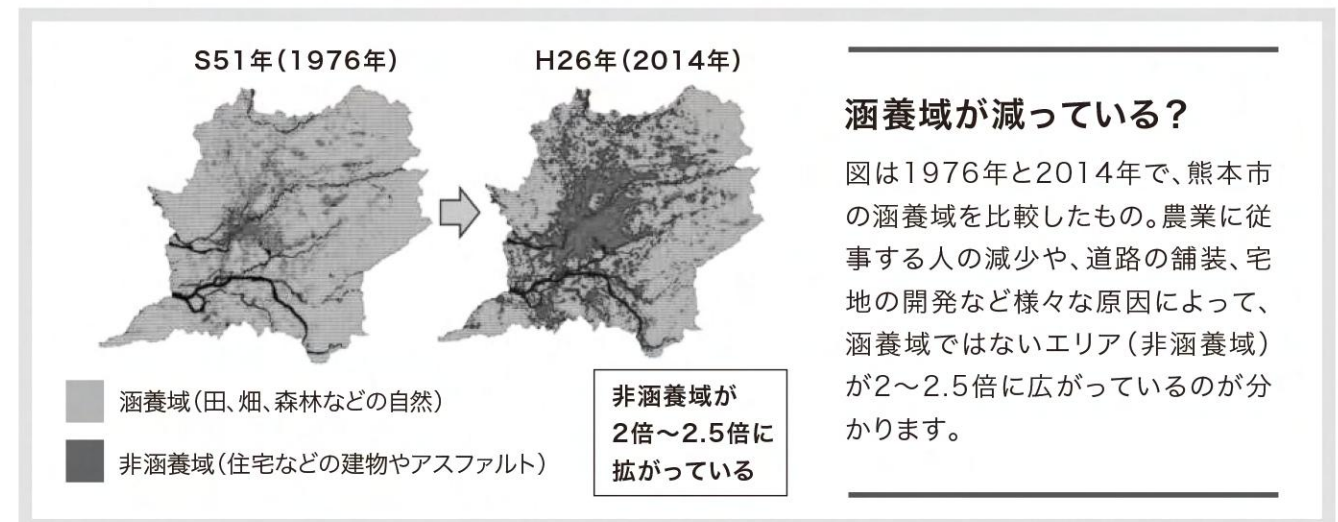
出典: 熊本市ホームページ

熊本市の地下には、大昔の阿蘇火山の大噴火によって「水をともしやすい地層」が形成されました。そのため地上に降った雨水は、長い時間をかけてゆっくりと地中に浸透していきます。そして、その過程でろ過されてキレイになり、地中のミネラル分が溶け込んで美味しい水へと変化していきます。この美味しい地下水を大量に蓄えているのが、熊本市の地下に広がる豊かな大地です。

地下水をつくるのは涵養域

雨水は地上に降るだけでは、地下水となることができません。河川や水路に流されず、地中に浸透して地下水になるためには、植物が生い茂る緑豊かな土地を通る必要があるのです。

つまり、お米や野菜などを育てる水田や畑、多くの木が生えている森林、草原が、地下水をつくるためには欠かせません。これらの地下水をつくる場所のことを「涵養域(かんよういき)」といいます。



涵養域が減っている?

図は1976年と2014年で、熊本市の涵養域を比較したものです。農業に従事する人の減少や、道路の舗装、宅地の開発など様々な原因によって、涵養域ではないエリア(非涵養域)が2~2.5倍に広がっているのがわかります。



音楽創造水守
志娥 慶香 さん



琴の音水守
藤川 いずみ さん

水と命の尊さを、音楽を通じて伝えたい!



水が合わなくてアメリカから帰ってきました(泣)。蛇口をひねってそのまま水が飲めるなんて、もうそれ自体が奇跡!



藤川さんの琴の音にのせて歌った「みずのうた」、ぜひYouTubeで聴いてください!



志娥慶香「みずのうた」 Keiko Shiga - The Water Song
<https://www.youtube.com/watch?v=okQAbPyvZk0>

ある日ふと目に留まった江津湖のほとりの美しい風景に心を動かされ、その美しさ、尊さを表現した「みずのうた」を作曲。県内外で環境イベントのBGMやテレビCMで取り上げられ、現在も熊本市役所の終業時の音楽などに使用されています。

他にもこんな水守さん

特徴的な活動を行う4人の水守さんをご紹介しましたが、他にもいろんな水守さんが存在!

例えば…

- 熊本水遺産の湧水地の世話人…湧水水守(水遺産水守)
- 水の名所案内ができるタクシー運転手…ガイド水守
- 地下水を涵養する農家…地下水涵養水守
- 熊本の地下水研究者…研究水守
- 東京在住でくまもとの水をPRする人…宣伝水守
- 料理を通じて水のおいしさをPRする…料理人水守

それぞれが自分の得意なフィールドで、「くまもと水守」として活動しています。
詳しくは熊本市水保全課のホームページ「くまもとウォーターライフ」でチェック!

くまもとウォーターライフ 検索

あなたも「水守さん」になれる!

水を守る活動や水の魅力についてPR活動ができる人なら、どなたでも「水守さん」になることができます。自分の得意分野・自分のペースで活動し、その活動を報告・発信することができます。

「くまもと水守」
の
登録方法

- ①くまもと水守登録申込書を市役所(水保全課)に提出
- ②市役所から講習資料が届く
- ③講習の受講、登録証の交付

「くまもと水守」登録申込書
ダウンロードはこちら



特別な活動をしていなくても、日々の生活の中での節水や、水の大切さについて家族と語らうだけでも立派な「水守活動」。一人ひとりの小さな意識の変化が、地下水を守り、涵養域を守り、「くまもとの水」を守ることに繋がっていくのではないのでしょうか?

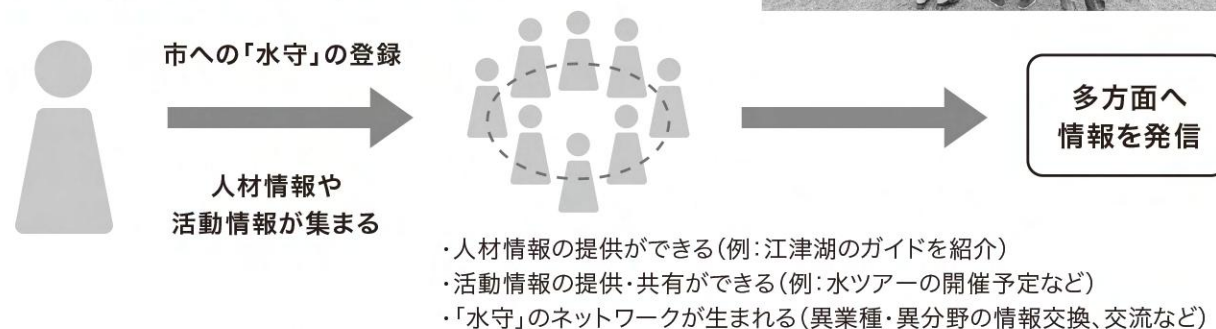
「水の都」の住民にふさわしい、今日から始められるボランティア…ぜひ一緒に取り組みましょう!

くまもとの水を守る人々

みずもり
人呼んで「水守さん」を知っていますか?

「くまもと水守」制度

熊本市には、水環境や水文化を守っている人、水の魅力をPRする人などがたくさんいます。こうした人材を、市が「くまもと水守」の愛称で登録し、人材育成や情報提供を行う制度です。登録された人々は「水守さん」と呼ばれ、様々な分野・手段で「くまもとの水」を守る活動、PRする活動を行っているのです!



活動内容は?

市や制度で決められた活動内容ではなく、認定された「水守さん」それぞれが、自分のフィールドで活動内容を決めています。つまり、水守さんの人数と同じだけ「水守活動」の種類があるということ。今回はそんな中から、特徴的な4人(3組)の水守さんをご紹介します!

江津湖の美しい水を守る!



水前寺江津湖
観光ガイド水守
永田 幸一 さん



江津湖がゴミのない、きれいな湖になることが願いです。日本一の地下水都市熊本の名に恥じない湖にしたいですね!



水を取り巻く様々な環境は全てリンクしています。この美しい水遺産を未来へ引き継ぐために多くの方の理解と行動が大事ですね。

水の都熊本のシンボリック的存在であり、熊本市民の憩いの場でもある江津湖。水前寺成趣園、藻器堀川、加勢川、江津湖などのルートを辿る「フィットパス」を通じて、江津湖周辺をガイドしながら熊本の水についての魅力を伝えています。

もっと多くの方に「くまもとの水」のことを知ってほしい!



加藤清正公の時代から治水に取り組んできた歴史や、今日まできれいな水を保ってきた先人たちの努力を知れば、普段から使う水にもっと感謝ができるはず!



感染防止対策のひとつである「手洗い」も、水の恩恵を受けています。安心安全な「くまもとの水」で、十分な手洗い・うがいができることにも感謝したいですね!



水環境案内水守
吉永 敏之 さん

熊本県の水環境課に勤めた経験を活かし、恵まれた地下水の現場案内や、くまもとの水がどのようにしてきれいに保たれているのか、その歴史についての講演会を実施。地域団体や小中高生を対象とした勉強会なども行っています。

出前講座を実施しました!

熊本信愛女学院高等学校、熊本県立湧心館高等学校の2校で、「SDGs」を通してボランティアの裾野を広げるための出前講座を実施しました。

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは?
Sustainable Development Goals(サステナブル デベロップメント ゴールズ)の略称で「持続可能な開発目標」を意味します。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、2016年から2030年の15年間で加盟193カ国が協力し達成するために掲げた17の目標です。



熊本県立湧心館高等学校ボランティア部



熊本信愛女学院高等学校情報ビジネス科

- SDGsの取り組みは、日ごろの生活の中で取り組めることを知った。
- 一人ひとりがSDGsについて自分で出来ることは何か考え、取り組むことが大切と思った。
- 講座の中で「なぜボランティアをするのか、なぜボランティアが必要とされているのか」を聞いて、今後ボランティアをする上でとても参考になりました。
- SDGsのすごろくゲームを通して、17の項目の取り組みをみんなで考え、意見を出し合ったことがとても良かった。

- すごろくゲームを通して、今からでもできることがたくさんあることが分かり、SDGsがより身近に感じられた。
- 高校生の立場でも世界に視野を広げて貢献できることがわかった。
- SDGsの期間が3分の1過ぎている現在、どのくらいの目標が達成しているか気になった。
- ボランティアに参加する時は「自分は何ができて、何をしたいのか」を意識して行いたい。

ボランティア講座 in あいぽーと ZOOM開催

現在、あいぽーとに寄せられるボランティアについての相談は、なんと9割が高校生から。「よかよかボランティア」の登録についても高校生の登録が急増中です。高校生達のボランティアへの関心の高まりに応え、今年の夏休み期間にボランティア講座をオンラインで開催!

「ボランティアの心構え」「ボランティアってなぜ求められているの?」「ボランティアクイズ」「コロナ禍でもできるボランティア紹介」など、様々な内容、切り口での講座を、オンラインミーティングアプリ「ZOOM」を利用して実施しました。



「ボランティアの意義、由来、作業にあたる上での注意点を教えてくださいました。講義の形式も、クイズなど問いかけがふんだんにあり、大変役立ちました。」

「私はボランティアをしてみたいとずっと思っていたのですが、何からしたらいいのか、どうしたらいいのか、私がかになれることはあるのか、などなかなかハードルが高くボランティアに参加することができませんでした。ですが、今回ボランティア講座を聞いて、思っていたよりもっと簡単にボランティアは出来るのだということがわかりました。今はコロナでそんなにできるボランティアはないかもしれませんが、少しでもできそうなことがあれば参加したいと思います。」

「小さな一人ひとりの努力の積み重ねが街や他の国の人を救うことにつながるということが改めて理解できました。これからもボランティアをして街や世界に貢献していきたいです。」

あいずボランティアレポート

eyes volunteer report

Let's Start ボランティア

くまもとの水の伝道師になろう

ボランティア活動に興味がある高校生を対象に、ボランティア活動の第一歩を踏み出すきっかけを作る、あいぽーと主催の事業「Let's startボランティア」。
今回は「くまもとの水」について学び、ボランティア活動に挑戦してもらいました。



入門編

7/29(木)開催

入門編の講師として、熊本市水保全課 アジア・太平洋水サミット推進室室長の廣瀨さんが登場。「くまもとの水」の魅力や歴史、水道システムの仕組み、地下水に関する取り組みなどについて、普段聞けないお話を聞かせてもらいました!



実践編

レポート提出形式で実施

コロナ禍によりあいぽーとでの集合、現地での取材などが難しくなったため、実践編はレポートを提出する形式での実施となりました。参加者それぞれが、自分が伝えたい「くまもとの水」をテーマにレポートを提出してくれました。提出されたレポートは、来年4月に開催される「第4回アジア・太平洋水サミット」において、パネル展示にて紹介される予定です。



残念ながら予定していた形での開催とはなりませんでしたが、廣瀨さんのお話や、レポート作成のための調査は、きっと貴重な経験になったはず! 普段何気なく使っている「くまもとの水」について真剣に向き合ったその想いが、いつか「くまもとの水」を守るためのボランティアに繋がってくれたら嬉しいです!

NPO法人 ガット

熊本法人会ファンド | ステップアップ助成

助成事業名 熊本市立小・中学校の学校図書館活性化事業 助成金額 222,796円

熊本市内の小・中学校の司書、学校図書館担当者を中心に本事業の計画を提案し希望校を募集し実施校を決定、視察を行い、課題を把握して改善内容と方法を考えました。実施校は、高橋小学校、麻生田小学校、黒髪小学校、中緑小学校、龍田西小学校、天明中学校の6校でした。2月には、全国学校図書館協議会事務局長による学校図書館活性化に向けた学習会を開催しました。計画では講師を招いて行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の対策として、リモートによる学習会に変更して実施しました。その後、事業のまとめとして広報誌やホームページで活動内容についての報告をしました。



エコ村伝承館

熊本法人会ファンド | ステップアップ助成

助成事業名 体験型環境学習活動の熊本市内への更なる展開 助成金額 92,270円

熊本市内の方々からの派遣依頼に応じ20回の派遣(参加者数延べ445人、会員派遣延べ60人)を実施。自主活動(竹林の下草刈り)は5回実施し、延べ16人が活動しました。参加した皆さんには、地球環境保全のために自分たちは何をしなければならないかについて考えるヒントを得ていただきたばかりではなく、ものづくり体験(マイ竹箸づくり)での親子の触れ合いを含め、とても楽しんでいただきました。指導者教育(指導者2名、新規入会会員5名)はコロナ禍のため日帰り研修とし、新入会員に対する活動時の注意点の説明、環境学習、ものづくり体験を実施。今後の活動にあたって十分な知識とスキルを身につけることができました。



くまもと転入ママの会 くまてん

熊本法人会ファンド | ステップアップ助成

助成事業名 転入ママウェルカム会 助成金額 220,486円

熊本へ転入してきたママがスムーズに熊本に馴染み、ワンオペ育児にならずに、楽しく熊本生活を楽しめるよう、先に転入してきたママや地元ママ、地元企業や地域の方達と協力して転入ママの歓迎会をオンラインで行いました。コロナ禍において情報もなく孤立しやすい母子に対し、イベントを通して母親同士の交流の場を提供でき、SNSを使用し活動を広めることができました。



NPO法人 くまもと新創生プロジェクト

熊本法人会ファンド | ステップアップ助成

助成事業名 世界に誇る「くまもとの水」啓発応援事業 助成金額 250,000円

講座では「人にとって水がいかに大事か、飲み物を通して考える。また熊本の水は世界にどう見られているか、外国人と水を学ぶ」「水とは」「水はなぜ大事か」「熊本の飲料」などを交えながら、熊本の水の啓発を行いました。講座も含め熊本の水を知る基本となり、熊本の水がいかに奥深く、奇跡の水であることを啓発する冊子「くまもとの水の手引き」を作成し広く配布しました。次年度も続けていく予定です。



傾聴ボランティアくまもと

熊本法人会ファンド・TELマッチングギフト | ステップアップ助成

助成事業名 熊本地震の被災者支援、公営住宅等を訪問しお話を傾聴する 助成金額 65,862円

東区秋津公民館、南区白藤団体会集室、益城町木山仮設住宅で月1回の傾聴活動を行いました。震災被災者家族各回5~16名程度、延べ137名の参加。新型コロナウイルス感染症対策をしながら、お花などを準備して「カフェ(傾聴)」を開きました。参加住民の方々と時間・空間を共有しお話を聞かせていただくことで、気付きや前向きに生きることなどを話していただきました。年度中3回にわたる会場閉鎖やイベント自粛の為、当初計画の半分程度の活動となりました。



熊本市市民公益活動支援基金 くまもと・わくわく基金 令和2年度 助成事業の成果レポート

令和2年度熊本市市民公益活動支援基金「くまもと・わくわく基金」は、9団体9事業に助成を行い、よりよい熊本市を目指し、熊本独自の地域課題につながる事業が実施されました。(採択された13団体のうち4団体は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業を実施することができませんでした。)

- ・スタートアップ助成事業……………4事業 助成決定総額……………283,953円
- ・ステップアップ助成事業……………5事業 助成決定総額……………851,414円

健軍東校区第7町内自治会

熊本法人会ファンド | スタートアップ助成

助成事業名 健軍東7町内コミュニティづくり 助成金額 98,858円

住民同士が顔を合わせて親睦を図り、コミュニティづくりのできる場を年間通して企画し、健軍東7町内に加入していない世帯も含めた全住民を対象に実施しました。①親近感を持って顔や名前を覚えられようなレクリエーションなど、親睦を図りながら楽しく一体感のある場を設け「顔の見える関係」をつくる会を開催しました。②「防災やAED」などについて新しい情報・正しい知識を学び、「共助」について考える機会となる講座を開催しました。③「周辺居住者とのつながり」や「地域への愛着」を培えるように健軍東7町内として地域の行事への参加を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できませんでした。



NPO法人 KP5000

熊本法人会ファンド・TELマッチングギフト | スタートアップ助成

助成事業名 ホープ・ルーム(心の回復を支える学びの場) 助成金額 23,425円

障害当事者(ピアカウンセラー)と支援者が協同し、メンタルヘルスに関する研修を開催しました。まずは、障害当事者が、本来持っている自己回復能力を高めるリカバリーに関することや、様々な精神保健サービスの紹介などを中心に取り組み、メンタルヘルスに関する市民講座を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、以後の開催は中止しました。



precious place「かけがえのない場所」

熊本法人会ファンド | スタートアップ助成

助成事業名 地域の子どもの健全育成「かけがえのない場所」づくり推進事業 助成金額 64,520円

①夏休みはオンライン de 寺子屋において(子どもの健全育成):ビデオ会議アプリ「ZOOM」を利用し、オンラインで児童の夏休みの宿題や教科書の復習を地域の先輩に教わりながら、互いに学習しました。②フェアトレード de お菓子づくり(福祉・国際協力・食育):フェアトレード食品(チョコレートなど)を使い、世界の貧困や児童労働について伝えました。事前に作りたいお菓子を話し合い、おいしいお菓子を完成させ、その後、子どもが作ったお菓子を囲んでティーパーティを行いました。(オンライン併用)③ハロウィン・クリスマス(子どもの健全育成・まちづくり)子どもが企画から運営まで行い、ハロウィンパーティやクリスマス会を行いました。進めて行くうえで適宜大人がサポートしました。



熊本キャリアカフェ・MIRAI

熊本法人会ファンド | スタートアップ助成

助成事業名 熊本キャリアカフェ・MIRAI 助成金額 97,150円

①キャリアコンサルティング、オンライン相談会(交流会)個別相談では参加者が仕事や生活に前向きになり、キャリアに対する主体性を取り戻すことができました。グループトーク形式のオンライン相談会は、コロナ禍真ただ中の状況において、参加者の生活や仕事に対する活力を引き立たせることができました。②ブース出展・ワークショップ(対面、ZOOM)受容的な雰囲気・場づくりに努め、参加者が自分自身の語りや他の参加者からのフィードバックによって自己理解を深め、自分とは異なる考え方、価値観、生き方を尊重する姿勢を醸成する効果もありました。「ママのためのIT入門セミナー」では、後に行動し、IT企業に就職が決定した参加者もいました。



くまもと・わくわく基金 その後の話

くまもと・わくわく基金の助成を受けた団体が、その後どのような成長・発展を遂げたのかを追跡するこのコーナー。今回取材に応じてくれたのは、「里親制度」の普及啓発と子どもたちへの支援を中心に活動する「特定非営利活動法人 優里の会」の黒田さん&八谷さん。平成27~30年度に助成を受けたそれぞれの事業は、団体に、そして熊本の地域社会にどのような影響を与えたのでしょうか？

平成27~30年度
助成団体
特定非営利活動法人
優里の会

平成25年設立。
「すべての子どもたちの安心・安全な暮らし」を実現するため、里親制度の普及と啓発、里親養育の支援を行う。団体名の「優里」は「優しい、優れた里親が増えて欲しい」という願いから。

どんな事業？

平成27年度助成事業
里親制度の普及啓発と
児童の福祉を考えるための講演会

平成28~30年度助成事業
里親制度の普及啓発と支援を強化するための事業

広く市民に「里親制度」を知ってもらい、その支援をどのように充実させて行けば良いかを考えるための講演会・研修会の開催や、市内各区の区民まつりでの啓発活動を行いました。



理事長(右):黒田 信子 さん
副理事長(左):八谷 斉 さん

優しい里親さんが
増えますように！
そう願って里親制度の普及・
啓発活動を続けています。

Q どんな活動を行っていますか？

みなさんは「里親制度」をご存知でしょうか？様々な理由によって家庭で生活できない子ども、社会的養護が必要な子どものために、実の親に代わり、ある期間育てる人を「里親」と呼びます。ところが、「里親」という言葉だけだと、依然として動物の里親をイメージされる方が多いのが現状です。講演会を行っても「譲渡会」だと勘違いして来る方も…。ですので、まずはみなさんに里親制度を知って、理解してもらおうのが最初の目的ですね。里親制度の必要性を知っていただき、「里親になるう！」という人を増やすために、講演会や研修、イベントへの参加なども行っています。

そして里親・里子のみなさんの暮らしのサポートも大事な活動です。里親になるみなさんは「子育ての経験もあるし、なんとかなるでしょう」とおっしゃる方が多いのですが、いざ子どもたちとの生活が始まると非常にハード！日々の訪問支援や研修などで、里親のみなさんをサポートしています。

援できる場面が限られていましたが、現在では一貫して関わる事ができるようになったため、里親さんからは「しっかりサポートしてもらえると喜んで頂いています。」

Q 今後の目標は？

団体を立ち上げた当時、ちょうど国全体で「里親を増やそう」という動きが活発化していました。その流れに乗って団体も成長してきましたが、成果という点ではまだまだ十分ではないと感じています。

「子どもたちの安心・安全な暮らし」という大きな目的のためには、取り組まなければならないことがたくさんあります。今まで同様の里親制度の普及啓発活動はもちろんです、児童虐待防止に向けた取り組みなど、子どもたちの声をしっかり聴きながら、新しい事業を考えていきたいですね。



Q わくわく基金との出会いは？その助成を受けての影響は？

設立当初から、活動資金に充てられた助成金をいっていると探していました。地元である熊本市の助成なら、その後のサポートも受けやすいだろうとの考えから、この「くまもと・わくわく基金」に申請してみることにしました。助成金の申請のための書類づくりは毎回苦労しましたが、その作業の中で、後々の活動に不可欠なスキルを得



ることができたので、今ではとても役に立っています。こうやって実際に相談できる窓口（「あいぼーと」）があるのは非常に助かりますね。それだけではなく、わくわく基金の交流会や報告会に参加することで他の団体と情報共有ができたり、他団体の活動状況を知れたのも大きな財産です。私たちの視野が広がるきっかけにもなりましたし、NPO法人として活動を続けていく方向性を教えていただいたような気がします。

Q 現在の状況は？

努力の甲斐もあって、令和2年には所轄庁より「認定特定非営利活動法人」として認定していただきました。活動に対してより多くの賛同や寄附を得やすくなりましたが、団体に対して求められる役割も、大きく、厳しくなってきたのを感じます。会の内部や体制も、規律をもって活動していかねばと身が引き締まる思いです。

また昨年からは、包括的・継続的な里親支援を行う「フォスタリング機関」として熊本県から業務委託を受け、新たな里親の開拓から日々の里親養育の支援まで、幅広い活動を行えるようになりました。これまでは里親さんを支

用語説明

- 認定特定非営利活動法人…
特定非営利活動法人（NPO 法人）のなかで、「運営や活動が適正」「公益の増進に貢献」など一定の基準を満たすことで、所轄庁から認定を受けたもの。認定を受けると、団体に対する寄附をする側・される側の両方に税制優遇が設けられます。「寄附が集めやすくなる」「社会からの認知度や信頼が高まる」などの効果から、活動の一層の発展が期待できるようになります。
- フォスタリング機関…
里親の開拓（リクルート）から登録前後の研修、里子とのマッチング、里親養育への支援、措置解除の里親支援まで一貫した支援を行う機関。安定した里親養育を目的として、都道府県の児童相談所や民間企業、NPO 法人などが協力・連携して運営を行う。

平成27年のスタートアップ助成から平成30年のステップアップ助成まで、4年連続でわくわく基金を活用して成長。その後、活動が認められ認定特定非営利活動法人となった「優里の会」。次へ次へと活動の幅や質の向上を目指して突き進むその姿は、まさに「くまもと・わくわく基金」が目指す理想の展開です。その活躍によってますます里親制度の普及啓発が進み、すべての子どもたちにとって安心・安全な暮らしが実現されることを願います。

「くまもと・わくわく基金」へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

熊本市民の皆さま、法人・団体等の皆さまからのご寄附は、令和3年7月10日現在、29,081,779円となっております。ご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、令和3年1月11日から令和3年7月10日の間にご寄附をいただきました皆さまへ感謝の意を込め、以下にご芳名を掲載させていただきます。皆さまのさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【一般寄附】

- 株式会社 熊本市リサイクル事業センター 様 7,304円
- 株式会社 パースト24 様 24,613円

《ご要望によりお名前のみ公開希望の方》

- NPO法人 スポレク・エイト 様
- 株式会社 お菓子の香梅 様
- 熊本新明産業 株式会社 様
- 有限会社 オー・エス収集センター 様
- 株式会社 オークス熊本 様
- 株式会社 熊本シティエフエム 様
- 有限会社 石翔 様
- 村上 伸二 様
- 岡本 君枝 様
- 坂本 金弥 様
- 添谷 信隆 様
- 大塚 博 様
- 島田 憲明 様
- 井上 剛義 様
- 今村 了 様
- 佐々木 みゆき 様

※その他、掲載を希望されなかった方 9名様

寄附をお考えの方

「くまもと・わくわく基金」への寄附は、地域活動推進窓口へ直接寄附金をお持ちいただく方法と、事前に必要事項を記入した「寄附申出書」を地域活動推進課へ送っていただき、その後返送された「納付書」をもって金融機関にて寄附金をご入金いただく方法があります。他にも熊本市役所本庁舎1階に募金箱を設置しております。寄附額に制限はありませんが、2,000円以上ですと、地方公共団体に対する寄附として「ふるさと納税」扱いとなり、税制上の優遇措置を受けることができます。また、「くまもと・わくわく基金」への寄附は、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」や「楽天ふるさと納税」でもお申込みできます。寄附のお申し込みやお問い合わせは、お気軽にあいぽーとまでご連絡ください。

「くまもと・わくわく基金」への寄附が
ふるさと納税サイトで申し込みできます！

熊本市では、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」での寄附受付を行っています。ふるさと納税の一種である「くまもと・わくわく基金」への寄附も申し込みが可能です。

「ふるさとチョイス」



楽天ふるさと納税



クレジット決済やマルチペイメントなど、決済方法を選択でき、申し込みから支払いまでの手続きをいつでも簡単に行うことができます。

熊本市では、一定額(10,000円)以上の寄附をいただいた方に対して、寄附金額に応じて「感謝の品」を進呈しています。(※熊本市内にお住まいの方は、「城主証」以外の感謝の品はお受け取りいただけません。)

「くまもと・わくわく基金」での寄附も、ふるさと納税として申し込みが可能です。

お問い合わせ

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと(ウエルバルくまもと1階) TEL: 096-366-0168
助成や寄附に関するお問い合わせは、お気軽に「あいぽーと」までご連絡ください。

熊本市市民公益活動支援基金
くまもと・わくわく基金

令和3年度 くまもと・わくわく基金 助成決定団体一覧

熊本市市民公益活動支援基金「くまもと・わくわく基金」令和3年度助成事業には、14事業のご応募をいただき、13事業への助成が決定しました。

- ・スタートアップ助成事業.....5事業
- ・ステップアップ助成事業.....8事業

ステップアップ助成事業
熊本法人会ファンド

NPO法人 ディスカバリーくまもと

助成事業名
熊本の誇る「奇跡の地下水」と水前寺成趣園を英語でガイドするための子ども講座

小学生・保護者を対象に「子ども英語でボランティアガイド養成講座」を実施。出水神社や水前寺活性化プロジェクトチームとの連携を深め、地域の良さや、熊本の誇る「奇跡の地下水」について再発見し、自主的に発信できるようにサポートする。

ステップアップ助成事業
熊本法人会ファンド

エコ村伝承館

助成事業名
体験型環境学習活動の熊本市内への更なる展開

今年度も熊本市内でのイベントを広く実施。竹などの材料を使って、竹トンボや水鉄砲などのものづくり、伝承遊びを楽しみながら、環境学習活動を展開。より多くの方に「美しい地球を守る」為、何ができるかを考えてもらう機会とする。

ステップアップ助成事業
熊本法人会ファンド

NPO法人 コロボックル・プロジェクト

助成事業名
里・夢プロジェクト

地域課題である不耕作棚田を整備・維持。地域内外が協働し、四季を通じた様々な野菜やもち米の種まきから除草、収穫、食育活動に取り組む。虫取りや川遊びなどの自然体験活動、収穫物での食文化体験、アンケートでの聞き取りに取り組む。

ステップアップ助成事業
熊本法人会ファンド

NPO法人 くまもと新創生プロジェクト

助成事業名
世界に誇る「くまもとの水」啓発応援事業

「水」のことを多角的に紹介し、より深い水の伝道者を増やしていく活動を実施。昨年と同じ取り組みだが、聞く人も話す人も違う。今回は特に観光案内人や施設関係者に「くまもとの水」の知識を深めたい。外国人の琴線に触れる視点を皆で考え共有したい。

ステップアップ助成事業
熊本法人会ファンド

子育てネットワーク「縁側moyai」

助成事業名
子どもに伝えたい熊本の農業と食プロジェクト

子育て中のママを対象として、熊本市内の活動拠点や近郊での農業体験、収穫体験、親子料理教室やワークショップ、農家との交流イベント等を開催。年間を通じた活動で、土づくりや種まきから収穫、調理や加工という一連の流れを知り、食育の機会とする。

ステップアップ助成事業
熊本法人会ファンド

NPO法人 傾聴ネット キーステーション

助成事業名
災害公営住宅での傾聴活動における地域コミュニティづくり支援事業

入居者や支援に関わる人たちの様々な気持ちを傾聴し、地域のコミュニティへの参加に繋げるカフェ型傾聴を定期的に行う。また、東日本大震災の当事者でもあるNPO法人仙台傾聴の会から現場での活動経験を通して得た教訓などを学ぶ講演会を実施。

ステップアップ助成事業
熊本法人会ファンド

NPO法人 KP5000

助成事業名
ホープ・ルーム(心の回復を支える学びの場)

障害当事者(ピアカウンセラー)と支援者が協働し、自己回復能力を高める内容や、様々な精神保健サービスの紹介などメンタルヘルスに関する研修やイベントを開催。また、メンタルヘルスに関する市民講座を開催し、精神疾患をいち早く予防することにも努める。

スタートアップ助成事業
熊本法人会ファンド

NPO法人 せいしとらんし熊本

助成事業名
幼児期から始めよう、いのちとからだの学び(性被害予防啓発事業)

幼児や児童が自身で性被害に気づき予防できるように、幼児保育者及び教育者に対し、早期に行う性教育の大切さを理解して頂くとともに、教育現場や家庭での実践方法について、法人の活動経験をもとに、オンライン形式の講座を実施する。

スタートアップ助成事業
熊本法人会ファンド

カフェ てくてく会

助成事業名
音楽の集い

専門の音楽療法士のもと、音楽を楽しみ成果を発表する場、認知症の本人や家族支援の場、お茶とおしゃべりで交流を深める場を提供する。家族やサポーターによる情報交換や相談支援を行うことで認知症を正しく理解し、偏見をなくす啓発活動にも取り組む。

スタートアップ助成事業
熊本法人会ファンド

NPO法人 プラスチックのある社会を考える+ing

助成事業名
「リレー方式美化ボランティアin熊本市」開催

水前寺公園一帯でリレー方式の美化活動を実施。水前寺参道から3名でスタートし、各ポイントで待機している数名に「たすき」を渡しながらか合流。美化活動の合間に、熊本市まち案内の団体から水前寺の魅力の説明を受けながら、水前寺参道に戻る。

スタートアップ助成事業
熊本法人会ファンド

KUMAMOTO フードツーリズム研究所

助成事業名
コロナ禍だからこそ「美味しい料理」を作ろう！食べよう！

ひと手間かけて美味しく簡単にできるレシピを募集する。レシピは、コロナ禍の後世への資料としての位置づけもあり、冊子などにまとめる。また、実演での講習会(1回)も開催する。

スタートアップ助成事業
熊本法人会ファンド

特定非営利活動法人 顔晴れる

助成事業名
老人ホーム慰問活動

熊本市内の老健施設を中心に、演歌で笑顔を届ける慰問活動を実施する。童謡などを高齢者の方々に歌っていただき、心と体が元気になるような活動を行う。

ステップアップ助成助成事業
熊本法人会ファンド

NPO法人 ガット

助成事業名
熊本市立小・中学校の学校図書館活性化事業

熊本市内の小・中学校の司書(司書補助員)、学校図書館担当者を中心に希望校を募り、相談内容に応じた図書館活性化計画を立案する。運営のための準備作業のサポートや、改善方法の提案、先進校の司書を講師として招いての学習会等も開催する。

※熊本法人会ファンド...くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業



アクティブNPO

今回紹介するアクティブなNPOは、児童養護施設の出身者や、家庭に問題を抱えた子ども・若者たちを対象に支援を行っている「NPO法人トナリビト」です。語ってくれたのは、社会の狭間で孤立する子どもや若者を支えたいと奮闘する代表理事の山下さん。団体の活動や子どもたちを取り巻く社会的問題、未来への想いを尋ねました。



はじめ、親や家庭から支援を受けることがない子ども・若者たちが、社会にきちんと参画できるように支援を行う場所が必要だと考えてスタートしたのが、自立支援シェアハウス「1PPPO」です。「食」「住」を提供し、共同生活を行うことで、生活の基盤や社会への足掛かりを作るのが目的です。その後、子どもや若者たちを孤立させないための「居場所」の必要性を感じ、相談窓口・居場所スペース「おとなりさん」も開設しました。NPO法人トナリビトは、法律や福祉制度の狭間で孤立し、もがいている子どもたちを支える受け皿になるために、活動の幅を広げていきたいと考えています。



拡がる支援の輪に感謝して

寄附という形で支援してくださる賛助会員やマンスリーサポーターの皆様、物品・食品などを寄附してくださる地域の方々、調理ボランティアなど現場で私たちと共に活動してくださる方々と、シェアハウスの開設当初から本場に多くの方々へ支えられてきました。また、私たちの活動をいろいろなメディアで取り上げていただいたことも、支援の輪が広がっていった要因です。私たち自身も、ウェブサイトやSNSを通じて支援する方々や若者たちの姿を日々発信し、更なる広がりを目指しています。

日ごろは目に映りにくいかもしれませんが、私達の周りには、支援を必要とする子どもや若者が数多く存在します。彼らの現状をより多くの人に知っていただき、その支えが集まる時、子どもや若者たちが作っていく未来は変わっていくと信じています。

「愛されるために生まれてきた！」
すべての子どもがそう思える未来を目指して

アメリカで出会った彼女は…?

活動の最初のきっかけは、アメリカ留学中に友達になった一人の女性との出会いです。現地に両親と住む彼女の生活を、最初は日系人だと思っていたのですが、話してみると実は熊本出身！ 故郷の児童養護施設から「特別海外養子縁組」でアメリカに渡り、アメリカ人の養親と一緒に住んでいることを聞きました。彼女との会話から児童養護施設に興味を持った私は、帰国後、彼女が育った施設を訪ねました。

子どもたちを取り巻く環境と問題

施設で話を伺ったり、有志とともにボランティアに通ったりする中で、子どもたち、特に思春期を迎えた中高生は恵まれた環境にいるとは

いえないと感じました。養護施設の職員のみなさんは、愛情を持って、一生懸命子どもたちに接しています。ですが、多くの家庭での子育てと同様に、小さい子ほど手がかかり、中高生一人ひとりの悩みや問題に向き合うには、人手も時間も足りないのが現実です。

また、施設出身者の進学率が10%に満たないことも知りました。多くの子どもたちは、高校を卒業する18歳という年齢で社会に出ていくことになるため、悩みや不安を抱えているのも当然です。施設職員のアフターフォローはあるものの、施設内の子どもたちの対応で精一杯…。結果、すぐに離職してしまうケースや、不安定な生活を余儀なくされる若者も少なくありません。そういつた養護施設出身者をは

活動の5つの柱

- ① 自立支援事業
「自立支援者シェアハウス 1PPPO」の運営により「食」と「住」を提供する。
- ② 学習支援事業
児童養護施設で過ごす子どもを対象に、マンツーマンの家庭教師ボランティアを行う。
- ③ 就労支援事業
施設を巣立つ/巣立った若者に対し、理解ある職員のネットワークづくりや就活支援を行う。
- ④ 普及啓発事業
支援の必要性や活動への理解を広めるため、イベント企画や広報物の発行、講演などを行う。
- ⑤ 支援者育成事業
児童養護や自立支援に携わるスタッフの育成やケアを行う。



NPO 法人トナリビト
TEL 090-8409-6565
(平日 10:00 ~ 17:00)

HPやSNSで活動をチェック!

HP Facebook Instagram

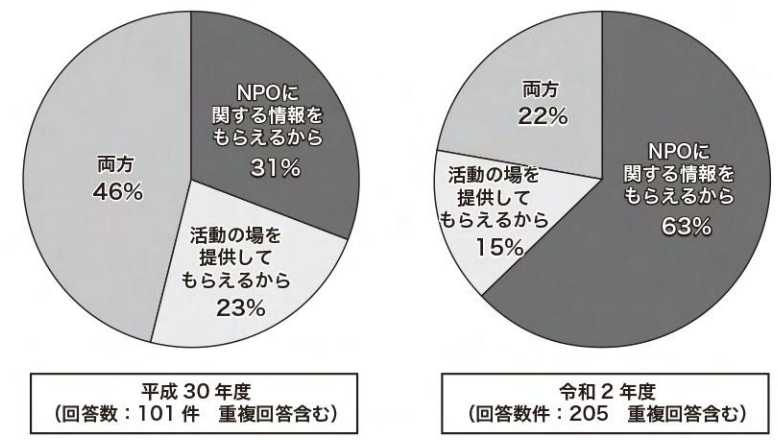
取材後記

取材の中で聞く、親の支援を受けることのない子ども・若者たちが抱える悩みや不安、彼らを取り巻く環境などの問題提起は、我々にとって想像以上に重く深いものでした。それでも明るく話をしていただいた山下さんをはじめ、スタッフ・支援者の皆さんの熱意と愛情を深く感じた取材でもありました。この社会的問題の中で苦しむ子どもや若者たちの未来のためにも、少しでも多くの方々の理解と支援に繋げることができたらと思います。

数字で見る“あいぽーと”

平成30年度と令和2年度の時点において、あいぽーと利用登録団体(488件:令和3年6月30日現在)の皆様が本施設をどのように活用しているかを調査したアンケート回答を見てみました。

「あいぽーと利用登録団体」として登録している理由は?



「NPOに関する情報をもらえるから」という回答は、前回の調査時と同様に高い割合になっています。一方で「活動の場を提供してもらえるから」という回答の割合は減少しました。コロナ禍で活動することが難しい中、あいぽーとからの様々な情報の発信は、各団体にとって重要なものになっていると感じられます。今後も発信する情報の質や量、発信方法などより改善を重ねて、効果的な情報発信に努めていきたいと思っています。

各提供スペースの稼働率

続いて、あいぽーとが行っている「場の提供(活動スペースの貸出)」に関する数字を見てみましょう。

	イベントコーナー				会議・セミナー室			
	午前	午後	夜間	全体(平均)	午前	午後	夜間	全体(平均)
平成30年度	87%	95%	48%	77%	94%	97%	69%	87%
令和2年度	67%	69%	27%	54%	65%	65%	38%	56%

※午前=8:30~12:00 午後=12:00~17:00 夜間=17:00~21:00

コロナ禍において活動を自粛する団体もあり、令和2年度の稼働率の大幅な低下が見てとれます。その一方、従来の活動場所が確保できず、あいぽーとで活動する団体も多く見られました。

「場の提供」に関する相談件数の変化

「場の提供」に関する相談件数の変化もまとめてみました。

	来所	電話	FAX	メール	合計
平成30年度	2,208件	217件	0件	0件	2,425件
令和2年度	2,191件	831件	242件	122件	3,386件

コロナ禍の影響もあり、活動場所に関する困りごと、要望は増加傾向です。全体の件数は大幅に増えてつても、来所しての相談はわずかに減少している点に、コロナ禍の影響が見られます。平成30年度時点で0件だったFAX、メールでの相談の増加は、あいぽーと内での受付体制の変化も要因と考えられます。

あいぽーとでは、①公益的、社会貢献的な活動であって、地域課題や社会的課題の解決が図られる活動 ②市民が自由に参加できる活動 の2つの条件を満たす活動を対象に、市民団体の活動のための「場の提供」を行っています(要事前登録、事前予約)。

「無料で使用できる」という利点はもちろんですが、「公共の場所で活動できる」という点も大きなメリットに挙げられます。活動を始めた頃は5名ほどの規模だった団体が、あいぽーとを拠点に活動するうちに理解者や協力者が増え、約5年間で30名ものメンバーに増えた例も見られました。「認知度の向上」や「利用者同士、団体同士の絆づくり」も本施設の大事な役割であることを再認識するとともに、この場所を市民公益活動の発展に繋げていきたいですね。

あいず川柳道場

今回のお題 わくわく

毎回力作揃いのあいず川柳道場。今回は「わくわく」をテーマに多くの作品を投稿して頂きました。あなたが最近感じたのは、どんな「わくわく」ですか?

阿蘇からの 水もわくわく 江津湖みち
(益城町 永田幸一)

コロナ禍で マスク美人の 多くなり
(南区 奥村幸博)

帰省待つ 子供の好物 腕磨く
(東区 カンナの花)

準備万端 それでも眠れぬ 明日の旅
(北区 さよよ旅2)

玉手箱 予期せぬ孫の プレゼント
(北区 ポケ前 孫大好きじい)

当選の 夢見て買いに 走る妻
(北区 夢見る トコト)

秋深し 支立て菊の つぼみつく
(北区 小山和美)

あと一人 もうすぐ出番 発表会
(北区 舞台 そで男)

絵手紙で 想いよ届け あの人へ
(中央区 細名 竜治)

遠方の 初孫知らせ 心待ち
(東区 ひでジイ)

夢叶え オリンピックの 晴れ舞台
(東区 ウメコ)

歳重ね わくわく感も 深み増す
(東区 鉄人けんちゃん)

次号のお題は1月にあいぽーと窓口にて発表致します。詳しくはあいぽーとまで。